

組織部速報

2022年6月2日
No.69

2022年度夏季手当 第2回交渉(要求の根拠)を行なう!

中央本部は6月1日に第2回交渉を行ない、要求の根拠について主張しました。

- 依然としてコロナ禍が続く中、組合員は列車を1本も止めることなく指定公共機関の使命を果たしてきた。
- 春闘でベア実施となったが、物価上昇分には全く追いついていない。生活給として期末手当を支給すべきである。
- 会社は「業績に対する還元」と言うが、過去に黒字決算であった時にも私たちには還元されたという実感が無い。
- 要求 2.9 カ月の根拠は組合員の生活実態とこの間の頑張りであり、決して高すぎる数字ではない。全組合員の切実な要求である。

＜過去の期末手当支給実績＞

(経常利益 91 億)	2017 年度…夏：1.60	冬：1.64	年間：3.24
	2020 年度…夏：1.75	冬：1.60	年間：3.35
	2021 年度…夏：1.77	冬：1.67	年間：3.44

第2回交渉～第3回交渉【闘争ゾーン】

＜要請FAX行動準備＞

交渉速報を活用し、組合員と
交渉の状況を共有しよう!

＜山場の取り組みにむけた意志統一＞

現場長要請行動・全国統一職場集会・
常駐への結集を呼びかけよう!

集会や総対話行動を展開し、職場から闘いをつくり出そう!